



三郷駅前
まち育て
プロジェクト

REPORT BOOK 4

レポートブック4

お問い合わせ

市役所三郷駅周辺整備推進室 TEL: 0561-76-8182

🌐 <https://35project.com/>

▶ 三郷駅前まち育てプロジェクト

✕ @35proj

📘 <https://www.facebook.com/groups/35proj>



35フレンズ
登録フォーム



WEBサイト



FaceBook

2025年3月15日発行

©三郷駅前まち育てプロジェクト/尾張旭市役所/愛知県立芸術大学/三郷駅前地区市街地再開発組合/株式会社アール・アイ・エー



プロジェクトリーダーからのご挨拶

三郷駅前再開発はとても大きなお金が必要なビッグプロジェクトです。たくさんの専門家が集まって知恵と技術を出し合い、何年もかかって完成します。ならば駅の周辺に住んでいる市民の協力がなぜ必要なのでしょう？それは、新しい駅前が完成した後は、この駅前を利用する主役がまさに駅周辺に住む市民だからです。市民はビルの作り方に関しては素人ですが、この町の暮らしに関しては専門家なのです。つい誰かに会いにぶらぶらしたくなる、楽しくワイワイやる仲間が集まれる、毎日寄りたくなる居心地のいい居場所がある。三郷に暮らす市民の生活の質をうんと向上させる駅前ができれば素敵ですよね。それは、知らないうちにできるものではないのです。

駅前再開発のユーザーである「三郷駅周辺の市民(この町の暮らしの専門家)」の協力があって初めてイキイキとした駅前再開発が完成するのだと、三郷駅前まち育てプロジェクトは考えています。

三郷駅前まち育てプロジェクトリーダー
水津 功 教授

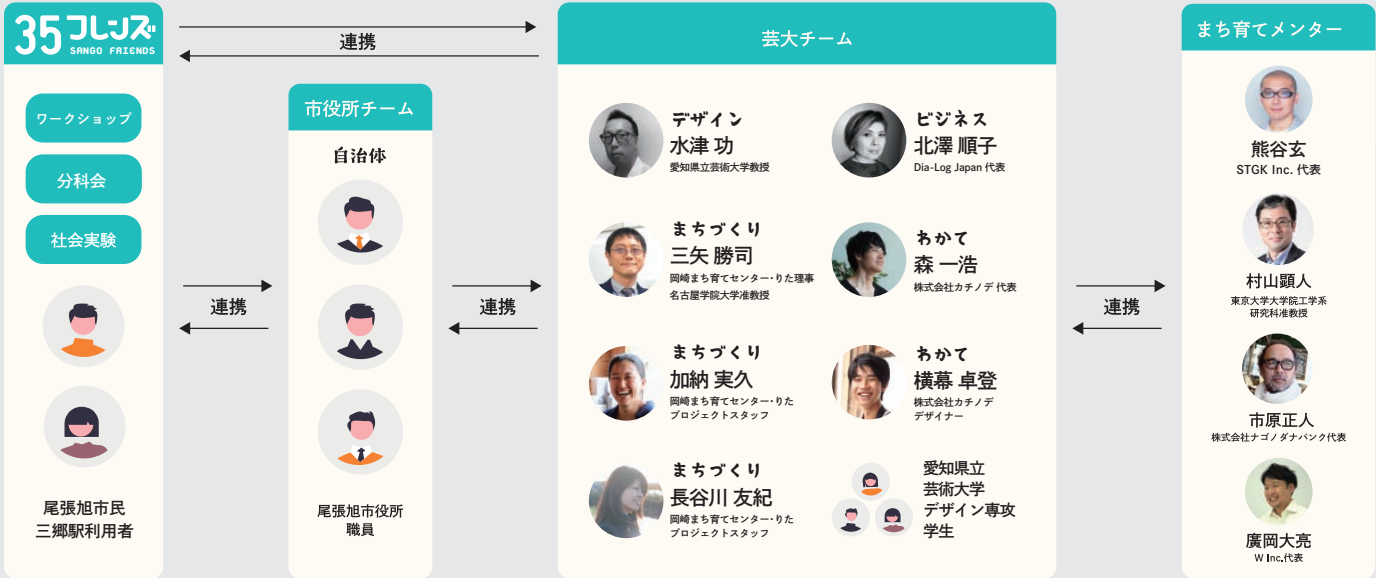


目次

三郷駅前まち育てプロジェクトとは	・・・p3
特集：SANGO FES - ROOF de CAMP -	・・・p4,5
2024 年度の「35 フレンズ」活動報告	・・・p6,7
三郷駅前まち育てフォーラム	・・・p8,9
間取りデザインワークショップ	・・・p10
プロジェクトのこれまでとこれから	・・・p11

三郷駅前まち育てプロジェクトとは

プロジェクトの支援体制



三郷駅前まち育てプロジェクトは、駅前再開発を核として周辺エリアの価値を高めることをめざしています。美術学部デザイン専攻の水津教授がリーダーとなり、市民参加型まちづくりの専門家である名古屋学院大学の三矢准教授とその活動母体である岡崎まち育てセンター・りた、戦略デザインのDia Log Japan 北澤氏、デザインで新しい価値を創造する若き起業家カチノデが中心メンバーです。さらには、さまざまな学識経験豊かな専門家らのサポートを受けています。ユーザーである市民の暮らしを豊かにしていくために必要な器＝建物とは何かに取り組み、建物竣工後の市民の活動が持続し進化していくための支援体制を充実させていきます。





特集：SANGO FES - ROOF de CAMP -

SANGO FES の概要

2024年11月9日(土)、イトーヨーカドー尾張旭店の屋上を舞台にSANGO FESを開催しました。三郷駅前に計画している公共施設と同じ広さ(約30メートル四方)のスペースを用意して、4つの空間(右図)をベースに導入したい機能やイメージを実験的に体験するべくイベントを企画・開催しました！

日頃の35フレンズの活動をベースに、この日のために「未来の三郷にあったらいいな！」を想像しながら準備を進めて迎えた当日。イトーヨーカドーの屋上からは視界いっぱいに広がる青空のもと、ゆっくり趣味の時間を楽しんだり、何かをつくったり、アクティブな企画まで様々な体験の場を約1,000人の来場者の方々と実現しました。



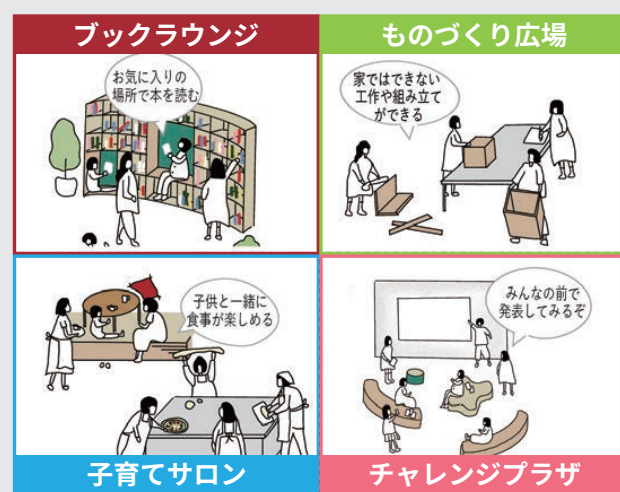
Can部

屋上キャンプをしよう！

のんびり過ごせるデイキャンプ場を試みたり、自転車やローラースケート、キックボード等をのびのびと練習できる練習場を屋上に展開しました。また、段ボール燻製キットを作成し、気軽にアウトドア体験を楽しめるコーナーも設け、チーズやハム、ポテトチップスなどを燻製して楽しみました。



イトーヨーカドー
尾張旭店屋上
屋上キャンプをしよう！



図：市民の「やりたい」を受け止める4つの空間

ブックラウンジ

(株) RIA 企画 芝生広場 + 本棚空間

再開発施設内に市民のやりたいを実現するための拠点を計画しています。35フェスでは市民の皆様が将来の拠点の雰囲気を感じられるように人工芝やガーランド、模型を設置しました。



本と映画と音楽と

ブックラウンジ
チャレンジプラザ

しゃべりば 35

「しゃべりば35」と称し、映画ポスター等の展示や持込もOKのレコードコーナーなどを設置して、こだわりのコーヒーの試飲を片手に楽しむカフェ空間をつくりました。

広場中央のステージでは生演奏も盛り上がりました。日常的にイトーヨーカドー店内の「まなびば35」でも本のおすそわけ「福BOOK朗」を開催しました。



子ども達と考える 35 の未来 子育てサロン

子ども工作コーナー 遊べる工作体験

子ども達が特に集まっていた『子ども工作体験』のコーナー。プラ板をオーブントースターで焼いてオリジナルキーホルダーを作ったり、1/20スケールで作られた未来の三郷駅前の公共空間の模型に、自分のアバターを描いて飾り付け、親子で楽しみながらどのように未来の公共空間を活用するか思いを馳せました。



35 アート部 ものづくり広場

バンブーツリー飾りつけワークショップ

三郷駅前からアートをまちに広げていくことをめざし、本イベントのシンボルとなる「バンブーツリー」を制作しました。来場したみなさん思い思いの願いをカラーセロハンに書きツリーに飾り付け、一足早いクリスマスを感じさせるオリジナルツリーが完成しました。イベント後ツリーはイトーヨーカドー店内に飾られました。



イトーヨーカドー連携イベント

屋上に合わせ、店内でイトーヨーカドーによる連携イベントも開催されました。シンプルだけど難しい！？「体内時計に挑戦」では目隠しで10秒をきちんと測れるかを参加者の皆さんが挑戦。また、子どもたち向けの「寿司職人に挑戦」や「パティシエ体験」には真剣かつ楽しそうな子どもたちの姿があふれていました。



特設サイト

部活動の企画について、
詳しくは特設サイトへアクセス！
<https://35project.com/35fes-2024/>



ダイジェスト動画

SANGO FES の会場を
ドローン空撮映像で見てみよう！
ダイジェスト動画はこちらから▷





2024年度の「35フレンズ」活動報告 募集説明会 / 部活動の発足



35フレンズの全体概要

尾張旭市民や三郷駅利用者が集まり、2023年度から「35フレンズ」という市民グループが結成されました。三郷駅を中心とした尾張旭市全体が豊かなまちに育っていくことをめざし、関心のあるテーマごとに、年間を通して様々なグループ活動を行っています。また、三郷駅前再開発計画に合わせて年に一回ほど社会実験を実施しています。年齢性別に関係なくどなたでも参加でき、会社員、自営業の方、中学生や高校生など、三郷駅にゆかりのある様々な世代が集まっています！



部活動の概要

2024年度はテーマごとの小グループ「部活動」を発足し、日々の市民活動を行うとともに、11月開催の「SANGO FES」をめざして、それぞれのテーマに関する企画を準備・運営しました。



募集説明会の開催

35フレンズの仲間を新たに募集しようと、初めて募集説明会を開催しました。説明会当日は先輩35フレンズにも参加いただき、体験談等を語っていただきました。
第1回：2024年5月8日（水）
第2回：2024年5月11日（土）

35フレンズの声



長岡 歩 さん 部活動：本と映画と音楽と
35フレンズに参加してみて、自分がこの街でどのように暮らしていきたいのかと、一度立ち止まって考えてみるきっかけになりました。そういったみなさんの考えがもっと集まると、三郷の未来も明るいのではないかと思います。



高須 紀子 さん 部活動：35アート
35フレンズをきっかけに間取りデザインWS等に参加し、様々な分野の方々が知恵を絞り再開発に関わる姿を見たり、住民として希望を伝える機会に巡りあうことができました。また、部活動を通して多彩な仲間に出会えました！



2024年度の「35フレンズ」活動報告 部活動の紹介



Can部

まずは自分たちが、まちCAMPを楽しむことで「三郷といえばCAMP」とみんなが思える駅まち空間をつくる。



本と映画と音楽と

三郷駅前に本や映画や音楽などを楽しむ人たちが集まり、ゆるやかに繋がっていくことで、文化がふれるまちを広げていく。



35アート部

街角アートギャラリーの設置などアート文化が漂うまち空間をめざして、みんなが自由に集まってアートデザイン活動ができる場をつくる。



子ども達と考える 35の未来

未来の主人公である子ども達が35フレンズに興味をもってくれることで、多くの世代が共に成長・進化する三郷駅前をめざす。



お福分け部

本のおすそ分け『福BOOK朗』や子ども服のおすそ分け『福FUKU笑い』をイトーヨーカドー尾張旭店で2024年度も継続して実施。
本や服などを市民みんなで“お福分け”できる場をつくる。



グリーン部

2023年度の社会実験で実施したミニプランター「森のかけら」の成長の様子を共有し合うなど、ゆるやかな活動を継続。森林公園の玄関口として緑を感じられる駅周辺をめざす。



あさのば35

2024年2月に誰もが立ち寄れる自習空間「まなびば35」をイトーヨーカドー尾張旭店に設置して以来、学生を中心に多くの反響をいただき、駅周辺における自習室のニーズの高さを実証することができました。イトーヨーカドーの閉店に伴い、惜しまれながらも閉鎖となりましたが、引き続き誰もが立ち寄れる空間づくりを模索していきます。



まなびば35

三郷駅前まち育てフォーラム

三郷駅周辺を中心により豊かなまちをめざして活動する 35 フレンズの活動報告と、岐阜県各務原市で「暮らしづくり」をテーマに活動するお二人をゲストに迎え、その経験に学び、ワクワクとした暮らしづくりが広がる三郷エリアの未来を展望しました。

【開催概要】

- ・日時：2025 年 2 月 23 日（日）15:00 ～ 17:30
- ・会場：尾張旭市 東部市民センター
- ・参加者数：70 名

【ゲスト】

一般社団法人かかみがはら暮らし委員会



長縄 尚史 氏



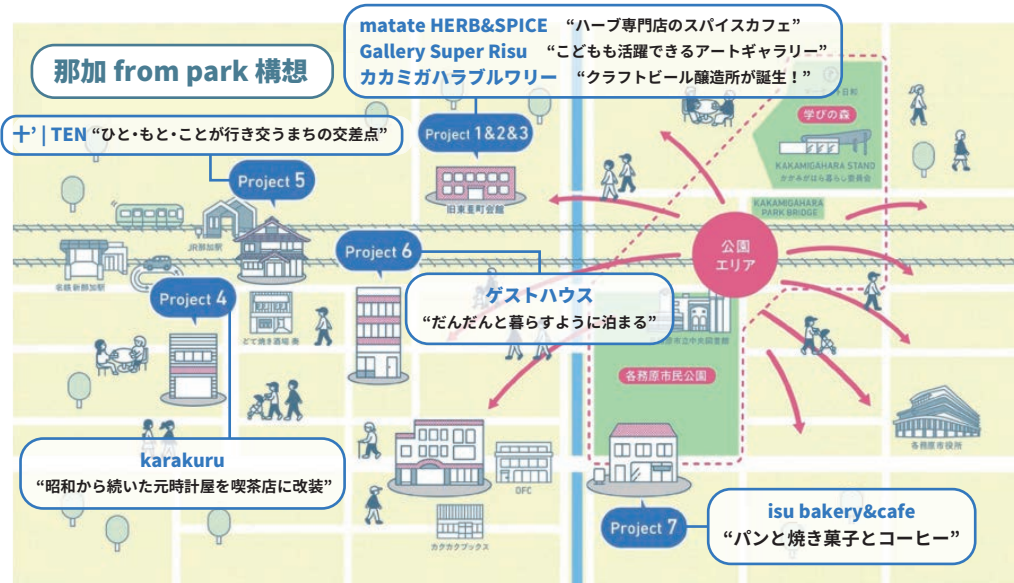
今尾 真也 氏



基調講演『公園からマチを面白く変えていく』 登壇者：長縄 尚史 氏

学びの森という公園を拠点に、2013年に各務原市主体でマーケット日和というイベントが始まり、企画委員のメンバーだった5人で2016年に「かかみがはら暮らし委員会」を設立しました。

YouTube
基調講演
パート▷



“文化発信基地にしていこう”と2018年に公園内にカフェ『KAKAMIGAHARA STAND』をオープン。行政からのお金0円、お客さんゼロからのスタートでした。公園での選択肢を増やし季節・気分に合わせて楽しめるように、古民家を活用した『かもす食堂』やPark-PFI制度を活用した施設『PARK BRIDGE』も開設。現在は「那加 from part 構想」として公園周辺地域へとエリアを拡大し、日常的なにぎわいや交流の生まれる空間の創出に挑んでいます。かかみがはら暮らし委員会のコンセプトは「まちを楽しむ人たちを増やす、まちを楽しむ人たちのコミュニティ」。マチは誰かに変えてもらうものではなく、自分たちで変えていくものだと考えています。

“三郷のみなさんはどんな景色を見たいですか？ 見せたいですか？”

35フレンズ活動報告

各部の代表者が、そもそもなぜフレンズに参画したのか？そして、2024 年度の活動や未来への想いを発表しました。



お福分け部 西尾十和子さん

気軽に色々な方が参加してくださる未来を目指し、おすそ分け文化をモノだけでなくコトにも広げていきたいです。



▲お福分け部
『福 BOOK 朗』



本と映画と音楽と
▼『しゃべりば 35』

YouTube
活動報告
パート▽



35アート部 光成仁志さん

アートで元気を届けたり、集える未来を目指し、協働・共同作業を進める中で絆を体現していると感じています。



Can部 浅井真理子さん

何したい？をやってみよう！に変えて頑張れる所が魅力。次は誰とどこで何をしようか？とても楽しみです。



子ども達と考える35の未来 水野寿美代さん

やってみよう！が出来る場なので、今後も色々な関わりで化学反応が起きていくと期待しています。



本と映画と音楽と 山田千鶴さん

本や映画や音楽などを楽しむ人たちがゆるやかにつながり、文化があふれる街をめざしています！

パネルディスカッション



各務原の先進的な取り組みを、三郷のまち育てに活かす方法についてパネルディスカッションを行いました。登壇者は、長縄氏（前掲）、今尾氏（株）Our Favorite Capital、以下OFC）、35フレンズを代表して松尾さん、水津氏（まち育てプロジェクトリーダー）、コーディネーターは三矢氏（まち育てプロジェクトメンバー）でした。

各務原の「寄り合い」を紐解く

寄り合い、つまり「目的や使命を掲げない場」「何かやりたい人が勝手に寄り合う場」について、長縄氏からは「やりたい人がはっきりしている人」もいれば「何かやりたい人を傍で見たい人、手伝いたい人」など色々な人がおり、それらの方々がそれぞれの立場でまちに関われるようにするために寄り合いのような場、装置が必要だ、と解説がありました。

「寄り合い」の思いを形にする会社

今尾氏からは、寄り合いで意見交換を重ねていく中で「何かをやりたいけどつながりがない」「何か（カフェ、パン屋、花屋、ゲストハウスなど）をやりたいけど場所がない」方々がおり、それが形にならないことに課題を感じたため、その実現を支援する専門の会社（OFC）を立ち上げるようになった経緯の紹介がありました。その結果、今では公園周辺に続々と、様々なお店が開店しています。

個人の思い、力を大切にする

＜松尾さん＞自分も、自分の子どものために、駅周辺に自習室ができないかという個人的な思いから35フレンズの活動に参加しました。各務原のお話を聴いて、フレンズの活動も改めて個に焦点をあてていくことが大切だと思いました。



松尾 成昭 さん
35 フレンズ

＜水津氏＞各務原の寄り合いに集まってきているような、好きなことを好きなようにやっている人たち、誰からも何も言われていないのに勝手に始める人たちの重要性に気がつきました。三郷においても、まずは自分が素敵にまちに暮らすことに焦点をあてて活動を進めていきたいと思っています。



YouTube まち育てフォーラム
パネルディスカッションパート▷





間取りデザインワークショップ



ワークショップの概要

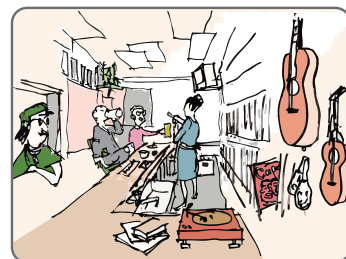
市街地再開発事業において整備される駅前公共施設については、2021年からワークショップ等で市民意見を集約してきました。今回は、これまでの市民提案を参考に作成された駅前公共施設の基本設計案をもとに、間取りやデザイン、内装のイメージ、設備の活用方法等について検討を行うワークショップを全2回開催しました。間取りとしては、ブックラウンジ、子育てサロン、ものづくり広場、チャレンジプラザの4つの空間を中心に賑やかさにグラデーションのある配置とし、エリア毎の使い方、必要な設備、色味や素材のイメージ、運営ルール等について話し合いました。



ワークショップの成果

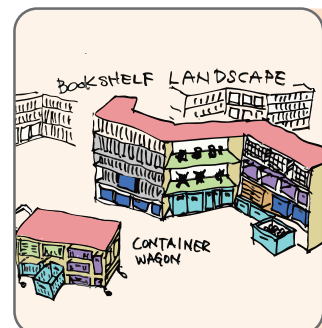
DAY1 2024年8月4日(日)

基本設計案をもとに
相性の良い間取りの組み合わせを考える
(主な意見)



音が出る施設機能をまとめる
・親子ラウンジ
・チャレンジショップ
・ものづくり広場など

3階の改札からつながるエントランスあたりは見通しがよく、展示やライブやアンテナショップが広がるエリアがいい



親子ラウンジと子ども図書、ブックカフェは一体的につながっていて欲しい

「ブックカフェとWEB会議ができる個室や棚、ロッカーがある」と、ビジネスパーソンの使い勝手上がる。

DAY2 2024年9月8日(日)

4つの空間コンセプトをもとに、
内装や設備を考える



〈2024年度末のフロアイメージ〉

これまでの検討を踏まえた基本計画案を提示し、ここで過ごし、活動する際に、周囲に広がっていて欲しい空間の設えや設備について意見交換をしました。子育て世代に優しい設備に関する要望(子どもが身体を動かせられる空間等)、市民が作った作品の展示や投影ができる空間、一人で集中したり、景色を見ながら学習や仕事ができる環境、個人の小さなチャレンジから本格的なスタートアップ支援まで様々な挑戦を応援する企画の必要性が提案されました。



三郷駅前まち育てプロジェクトの これまでとこれから



空間像と社会像の展望

(1) 空間イメージの育み

駅周辺まち育てビジョンの立案(2021)に始まり、「駅前にあってほしい未来の姿」を仮設的に実現する仕掛け(社会実験 2022-24)を振り返ると、次のような変遷があります。

1. 線路の近くある特徴をいかし、子どもが電車を楽しく眺めていられる「電車パーク(2022)」
 2. イトーヨーカドー尾張旭店の1階エントランス付近を三郷駅前広場に見立てた「未来の駅前を体験しよう!(2023)」
 3. 同じくヨーカドーの屋上駐車場を駅前再開発ビルの公共施設フロアに見立てた「SANGO FES(2024)」
- こうした空間イメージの高まりを再開発事業に繋いでいきます。

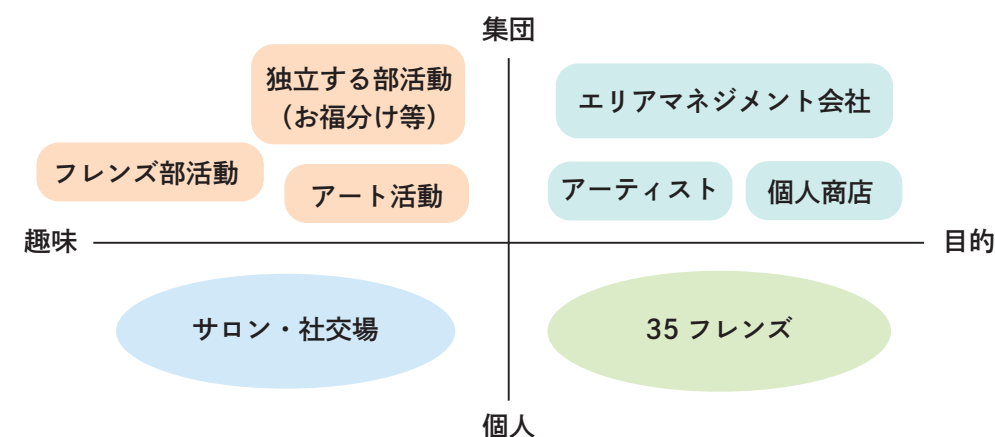


図1: 組織や場の関係

(2) 社会イメージの育み

上記の未来の空間イメージの検証と同時に、市民コミュニティも育まれてきました。2022年までのワークショップに参加してきた市民らを中心として2023年に、いつでも参加できるコミュニティとして「35フレンズ」が発足しました。共通の関心事を持つ市民が寄り添った「分科会(2023)」を設置した後、継続的な活動を行う「部活(2024)」へと展開してきました。図1を手掛かりにすると、左下の領域(仲間の輪を広げ、かつ自由で広がりのあるネットワーク)でこれまで右下(プラットフォーム=35フレンズ)から左上(部活)の領域へと展開してきました。今後は、右上の領域(まちづくり会社やエリアマネジメント会社の設立)に挑戦する有志市民の活躍の場を準備することが重要と考えています。



三矢勝司(NPO 岡崎まち育てセンター・りた理事/名古屋学院大学現代社会学部・准教授)

三郷駅前まち育てプロジェクトの参加方法

① 見る・知る

HPやSNSで、
本プロジェクトの動きを
ウォッチしませんか?
<https://35project.com/>



② 活動に参加する

三郷の未来を考えたい方であれば、どなたでも35フレンズ
にご参加いただけます。ぜひ一緒に活動して、三郷駅を中心
とした尾張旭市全体を豊かなまちに育てていきましょう!
<https://35project.com/wanted-35friends/>

